

# 申 立 書

つがる市長 様

令和 年 月 日

(所有者) 住所： \_\_\_\_\_

※共有名義で登記する場合には、軽減措置を受ける方の住所・氏名・持分を連記し、各々の印鑑を押印してください。

氏名： \_\_\_\_\_ ⑩

このたび、私が新築又は取得した下記家屋は、現在のところ未入居の状態にありますが、自己の居住の用に供するものに相違ありません。

## 記

1 家屋の表示 :

(所在地) つがる市 \_\_\_\_\_

(家屋番号) \_\_\_\_\_

2 家屋の住居表示 : つがる市 \_\_\_\_\_

3 入居予定年月日 : 令和 年 月 日

4 現在住んでいる家屋の処分方法等 (該当する□に✓点を記入してください)

処分方法を確認できる書類を添付してください

- 現在住んでいる家屋 (持ち家) を売却する
- 現在住んでいる家屋 (持ち家) を賃貸する
- 現在住んでいる家屋は、借家・借間・社宅・寄宿舍・寮などである
- その他 (現在住んでいる家屋に親族が居住する、親族が所有している、親族が借借人である場合等)

5 入居が登記の後になる理由 (該当する□に✓点を記入してください)

- 抵当権の設定を急ぐため
- 前住人 (売主) が未転出のため
- 本人又は家族の傷病等のため
- リフォームに時間を要するため
- その他 (具体的な理由を記入してください)

[ \_\_\_\_\_ ]

なお、証明書交付後にこの申立書に虚偽があることが判明した場合には、交付された証明を取り消され税額の追徴を受けても異議ありません。